



八景水谷公民館だより



No.174 令和6年2月1日
発行/八景水谷公民館文化部



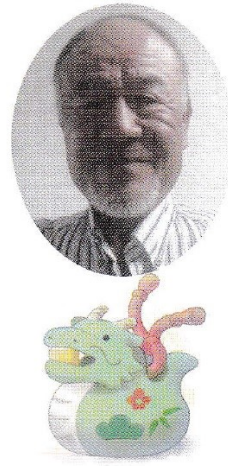
激しく燃え上がるとどんどん焼き!! 1月14日、八景水谷公園

住みよい人情味豊かな町

明けましておめでとうございます

誰もが大切にされる町内会めざして

八景水谷町内会会長 真嶋 弘治



被災者に速やかな救援がなされ、地域の復旧復興が迅速に進むことを願う次第です。

新年あけましておめでとう

ございます。ただ元日夕、石川県の能登半島を震源とする激しい地震が北陸地方一帯を襲いました。地震や津波で多くの方々が亡くなり、住まいや家財を失い救援を待つ被災者も多数出るという大惨事となりました。

熊本地震を経験した者として、犠牲者の方々に謹んでお悔やみ申し上げるとともに、

町内の皆様におかれまして

は、それぞれに健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、町内会の運営や活動につきまして格別のご理解とご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

本年度は、新型コロナウイルスの流行も少しずつ収まり、町内会総会も盛会のうちに無事終わることができました。夏まつりも前日の悪天候で開催が心配されましたが素晴らしい天

気のもと全ての催しを終えることができました。運動会もとても寒い日が続いていましたが、当日は晴れて気温も上がり楽しい時間を過ごすことができました。

どんど焼きもたくさんの方々に参加いただき盛大に行うことができました。これもひとえに皆様のご協力のたまものと感謝申し上げます。

今年成人式を迎えられた皆様おめでとうございます。これからどう生きるか、大人としての責任がかかってきます。今後の人生が幸多きものとな

ることをお祈り申し上げます。町内会としまして、さきやかですが成人祝いの品を贈呈させていただきます。

八景水谷町内会では引き続き、校区自治協議会並びに各種団体等の方々のご協力をいただき、子育て支援や福祉活動などを充実させていきます。さらに、すべての人の人権が守られ、誰もが気軽に声を掛け合える、住みよい人情味豊かなまちづくりをめざし役員一同頑張っていく予定です。なにとぞ皆様方の更なるご理解とご協力をお願い申し上げます。

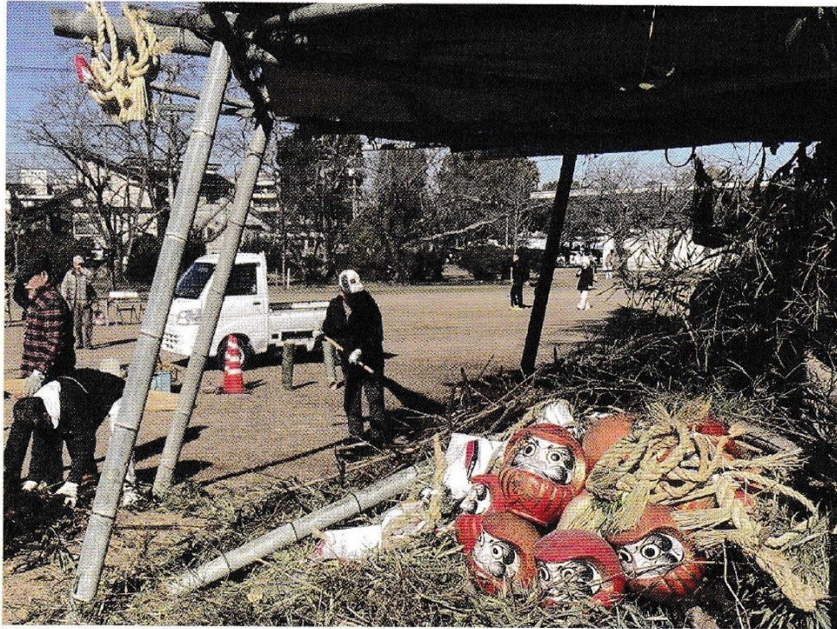
令和6年が、昨年以上に良い年となることを祈念してごあいさつとさせていただきます。

甲辰（きのえ たつ）

天焦がす炎に思い込め

5年ぶり、公園でどんど焼き

お正月の風物詩・どんど焼きが14日、八景水谷公園で行われ、集まった約300人の住民らは激しく燃え上がる炎に家族の健康など思いを込めていました。



しめ縄などに混じってダルマも持ち込まれました

どんど焼きは、天候不順やコロナ禍で中止が続き今回は5年ぶり。町内会では実行委員会を重ねて計画を



ヤグラに廃材や竹を載せる町内会役員ら

練り、前日は裏山の竹100本を伐採。公園中央に運んでヤグラを組み立てました。強風に煽られて一時、ヤグラが倒れるハプニングもありましたが、当日は天候にも恵まれ無事正午に城北小野球部員や年男女が点火しました。

会場では町内会女性部や子ども会のだご汁、ぜんざいの振る舞いやカッポ酒の提供もあり参加者は舌鼓を打っていました。



子どもたちは甘いぜんざいに大喜び



女性部が提供しただご汁には長蛇の列

吹奏楽やバザー楽しむ

城北小校区
「ふれあいの日」



▲模擬衝突体験ブースで交通事故の衝撃を体験する子どもたち

「城北校区ふれあいの日」が
10月1日、城北小学校で開か
れ、児童や保護者など多くの
住民でにぎわいました。同校

PTAを中心
に校区自治協
議会など地元
各団体の協力



▲バザーを楽しむ子どもたち

で実施されてい
て、体育館で行
われたオープニ
ングセレモニー
では、同校吹奏

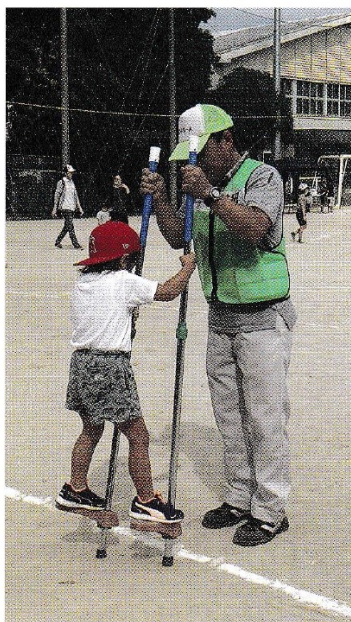
楽部のメンバーが「銀河鉄道
999」や「いつか見た海」
などの楽曲を披露。7月の県
吹奏楽コンクールで金賞を受
賞した演奏に盛んな拍手が贈

られていま
した。

この日は
グラウンド
や校舎内に、
バザーや昔

遊び体験、交通事故の模擬衝
突体験などのブースが設けら
れました。訪れた子どもたち
はかき氷やたこ焼きなどに舌
鼓を打ったり、竹馬や紙飛行
機、竹とんぼなどの昔遊びを
楽しみました。

交通安全協会の模擬衝突体
験ブースでは時速5キロで車
が衝突した際の衝撃を実感。
体験車から降りた子どもたち
は「怖かった」「心臓がドキ
ドキ」と振り返っていました。



▶小さな女の子も竹馬に挑戦

小中高生が一堂に ダンスや演奏披露 清水中「さわやかフェスタ」



「宝島」など得意の楽曲を演奏する清水中吹奏楽部

「第22回さわやかフェスタ」が11月4日、清水中学校体育館を会場に開かれ、観覧に訪れた児童・生徒や保護者、地域住民らでにぎわいました。熊本市中学生地域交流推進事業の一環として毎年恒例のイベントで、今回は清水中吹奏楽部のほか、近隣の城北小

吹奏楽部、麻生田小音楽部、熊本北高ダンス部と吹奏楽部のメンバーが参加しました。プログラムは北高ダンス部の「DANCE WITH ME NOW」で開幕。キレのあるダンスの披露に「かっこいいね」など歓声が沸いていました。県吹奏楽コンクールで金賞を受賞した城北小吹奏楽部はそろいの赤いシャツ、



キレのあるダンスで開幕を飾った熊本北高ダンス部



県コンクール金賞の腕前を披露する城北小吹奏楽部

黒の半ズボン姿で登場。「いつか見た海」「オトナブル」などを演奏しました。地元の清水中吹奏楽部は同校伝統の「行進曲 若人の心」「セント・アンソニー・ヴァリエーションズ」を披露。最後の「宝島」ではサンバのリズムに乗って会場から手拍子もあり、盛り上がっていました。

リレーや綱引き、歓声響く 5年ぶりに町内運動会

八景水谷町内運動会が11月19日に八景水谷公園で開かれ幼児からお年寄りまで約200人が参加。徒競走や玉入れ、借り物競走など趣向を凝らした10のプログラムを楽しみ、親睦を深めました。



学年別徒競走で元気良くスタートする子どもたち



運動会は1年おきに開かれていましたが、コロナ禍のため直近の2回が中止され、今

回は平成30年以来5年ぶりの開催でした。

会場の公園には町内会役員らの手でトラックの線が引かれ、開会式では真嶋弘治会長が「天気にも恵まれました。ゆっくりいろいろな競技を楽しんでください」とあいさつ。ラジオ体操で体をほぐしました。



開会式であいさつする真嶋会長

競技は小学生の学年別徒競走を皮切りに、60歳以上のグランドゴルフリレー、1、2、3、4丁目と官舎対抗の綱引



前日、トラックの白線を引く町内会役員

きなどが行われ、時には真剣に、時には和気あいあいに競技を楽しみました。競技に参加した子どもたちはお菓子などの賞品をもらって笑顔を見せていました。最後の町内対抗リレーでは地区のプライドを懸けた力走に「頑張れー」「追い越せー」など声援が飛び交っていました。

最後に運動会開催に快く協力いただいた城北小、水の科学館、亀井亀梨会などの皆様に厚く御礼申し上げます。

運動会写真特集



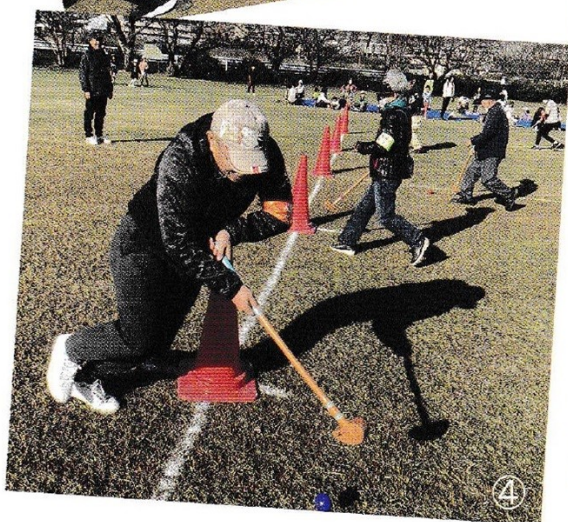
①

写真説明

- ① パン食い競争で
がんばる子どもたち
- ② 5地区対抗で行われた
綱引き
- ③ 5地区対抗の玉入れ
- ④ 60歳以上で行われた
グラウンドゴルフフリレー
- ⑤ 飲み干すのに悪戦苦闘の
ラムネ早のみ競争
- ⑥ 町内対抗リレーの
ゴール



②



④



③



⑥



⑤

力合わせて町内美化

秋の一斉清掃に百人参加

秋の町内一斉清掃が10月22日の朝行われ、子どもから老年寄りまで、地域全体で約100人の住民が清掃活動に汗を流しました。参加者らは早

い所では午前7時ごろから、軍手や草刈り鎌などを手に、ビン・空き缶などのごみ拾いや雑草刈り取り、落ち葉などを掃き集め配布されたゴミ袋



落ち葉などのゴミを集める住民

に詰めていました。

取り組みを見て回った環境部長の清水裕美さんは「街の美化は自分たちで、をモットーに和気あいあいと力を合わせて作業に取り組んでいただきました。その結果45リットルのゴミ袋120袋のゴミを回収できました。夏草が生い茂っていた町内はすっきりとした秋景色となりました」と振り返っていました。

次回の町内一斉清掃は6月に行われる予定です。



石垣に生えた雑草も刈り取ってきれいに

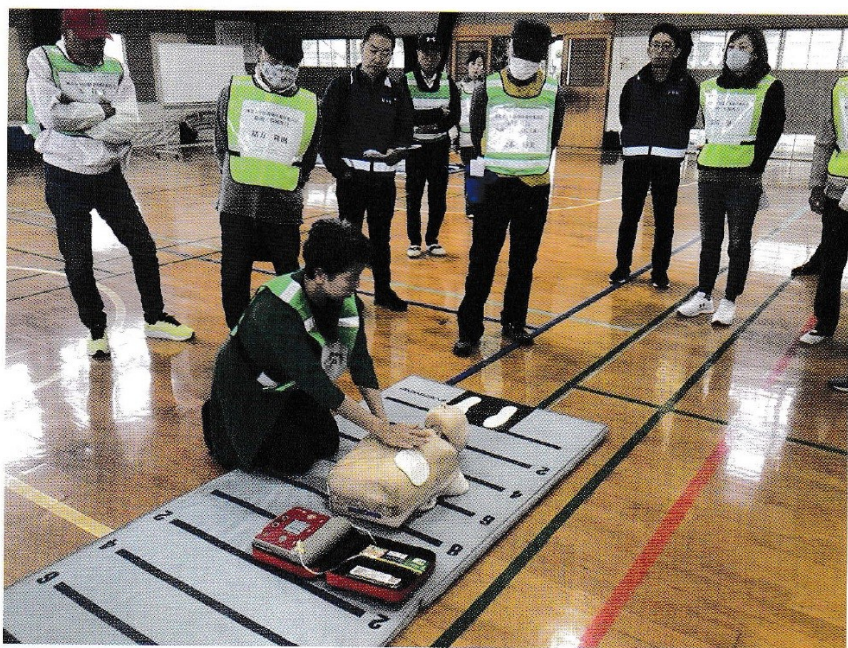
被災者の円滑な受け入れを

城北小で避難所開設・運営訓練

AED体験や受付手順を確認

城北小学校避難所開設・運営訓練が昨年11月12日に同校体育館を中心に行われ、町内

会役員や自治体、学校関係者など約50人が参加しました。熊本市震災対処訓練の一環で、熊本地震のような突然の大災害の際、迅速に避難所を開設、被災住民をスムーズに受け入



AEDの使い方を体験する参加者

確認しました。総務・情報班では避難者を間隔を空けて収容するための区画づくりやパーテーションの組み立て、避難者の受け付け手順の確認などに取り組みました。

れられる態勢づくりが目的です。参加者はまずマンホールトイレの設置やAED（自動体外式除細動器）の使用訓練を体験しました。

このあと総務・情報班、救護班など各班に分かれて実際の避難所設営に取り組み、手順など

進行に当たった町内会の松本康宏総務部長は「初めての実働訓練でしたが、各班ごとに事前に計画を作成し、実際に業務を行うことで手順や所要時間など把握できました。問題点の確認もでき多くの成果が得られました」と振り返っていました。



校庭で行われたマンホールトイレ設置訓練

ミニバレー、ボッチャ、Gゴルフ…

大人も子どももスポーツ体験

学校や公園で親睦深める



城北校区スポーツ交流会が10月15日、城北小学校体育館で開かれました。ミニバレーやビーチボールバレーを通じて住民同士の交流を図るもので、この日は小学生から高齢者まで約40人が参加しました
Ⅱ写真上。



会場にはビーチボールバレーとミニバレーのコートが設けられ、スポーツクラブの関
係者がルールやプレーのコツなどを説明しました。体育館には「行け行け」「打てー」など掛け声が飛び交い、珍プレーや好プレーに拍手が送られていました。最高齢の中村征子さん（80）は「孫やひ孫とプレーしているようで楽しい」と話していました。
12月17日にはボッチャ、囲碁ボールなど5種類のニュー
スポーツを体験する交流会もあり、小中学生ら30人が参加しましたⅡ写真左。ほとんど



が初めてで、地域のスポーツ指導員がルールや楽しみ方を説明。

ボッチャをプレーした清水中2年の岩下琉臣君は「力加減が難しいです」と話していました。

また八景水谷公園では9月と10月に女性部と老人部のグランドゴルフ大会も開かれ、それぞれ和気藹々とプレー、親睦を深めましたⅡ写真下。

クジラ、イカ、マンタ…

暖かな灯り、校庭に

城北小で恒例の「城千灯」



5年生がデザインした「クジラ」

城北校区年末恒例のイベント「城千灯（じょうせんとう）」が昨年12月10日、城北小学校グラウンドで行われました。同校PTAなどが児童たちの思い出作りとして企画しているもので今年で4回目です。今回はNTT西日本の協力で、現実の風景にデジタル映像を重



1年生が作り上げた「マンタ」

ねて表示するAR（拡張現実）体験会を盛り込んだ形で行われました。児童らはNTT西日本職員の紺野哲成さんからARについて説明を受けた後、グラウンドに出てLED電球が入ったプラスチックのコップの灯籠千個を、学年ごとにタツノオトシゴやウミガメ、イカ、マンタなどの形に校庭に並べます。

コップにはQRコードが貼

ってあり、スマートフォンで読み込むと、くまモンや水族館の魚などが現実の風景に重ねて表示される仕組みです。日が沈んで辺りが暗くなると赤や黄、青、緑など灯籠の絵がグラウンドに浮かび上がり、児童らは「これはクジラだ」「くまモンが出てきた」など声を上げていました。紺野さんは「子どもたちも家族も楽しめるように工夫しました」と話していました。



校庭に灯籠を並べる子どもたち

ウナギやコイ 触ってみたよ

城北小児童らが 公園で校外学習

城北小学校（石原将校長）
3年生の校外学習が、昨年10
月13日に八景水谷公園で行わ
れました。

校外学習は、児童らが自主



山田さんの説明を聞きながら
魚やカメに触れる児童たち

的にテーマを決めて地域につ
いて考える総合的学習の一環
で、同公園愛護会などが協力
しています。

この日は3学級83人が参加
しました。児童たちは愛護会
の山田昭憲さんらがバケツや
水槽に用意したウナギ、コイ、
イシガメ、サワガニなど公園
に生息する生き物を観察しま
した。

子どもたちは動物に実際に
触って感触を確認。「どうや
って捕まえたの?」「カメは
かみつくの?」など山田さん
に質問する子もいました。日
頃生き物に触れる機会の少な
い児童たちは、「ぬるぬるす
る」「気持ち悪い」など声を
上げていました。

また愛護会員が用意したニ
ホンミツバチなどの昆虫や草

花の観察、水の科学館での熊
本の水と海外の水との飲み比
べもありました。

ご寄贈お礼

故前田耕二様のご遺族
様から香典返しとして金
一封を町内会にご寄贈い
ただきました。ここに改
めて故人をお偲びし謹ん
でご冥福をお祈り致しま
すとともに厚くお礼申し
上げます。

募金の報告

・ 赤い羽根 66,161円

ご協力下さいました町内
の皆様にご感謝申し上げます。

編集後記

能登半島地震はお屠蘇気分
の真つ最中の衝撃でした。

潰れてしまった家、炎上す
る街並み、鳴り止まぬ緊急地
震速報。8年前の熊本地震の
記憶がよみがえりました。

この原稿を書いている段階
で多くの犠牲者を出し、加え
ていまだ行方不明の方々もた
くさんいらっしゃいます。一
人でも多くの方が救助され、
救援の手が伸びることを祈
ばかりです。

熊本も地震から8年、苦し
かった日々を忘れがちです。
地震は100年後かもしれない
し明日かもしれない。町
内会でも避難所設営訓練など
地震の再来に備えています。
記憶を風化させないよう努
めたいと思った年の始まりで
した。